

DATA：耳鼻咽喉科

- 日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設、日本睡眠学会認定施設
- 主な対象疾患：【睡眠時無呼吸症候群】簡易アプノモニター検査、終夜睡眠ポリグラフ検査、CPAP療法、手術療法（口蓋垂・軟口蓋咽頭形成術、鼻中隔矯正術、下鼻甲粘膜切除術）、口腔内装置（歯科・口腔外科にてマウスピース作製）【鼻・副鼻腔疾患】慢性副鼻腔炎、副鼻腔良性腫瘍、副鼻腔嚢胞、眼窩吹き抜け骨折、難治性鼻出血、下垂体腫瘍などに対する内視鏡下鼻内副鼻腔手術【アレルギー性疾患】鼻アレルギーに対する鼻内手術、減感作療法【中耳炎】慢性中耳炎・中耳真珠腫に対する鼓室形成術、小児の反復性・難治性中耳炎【その他】頭頸部腫瘍、顔面神経麻痺、突発性難聴、めまい症に対する治療など

常勤医在中、入院対応が可能

脳神経・眼・口腔を除いた頭頸部における全疾患の治療・手術にかかわる耳鼻咽喉科。当科では専門医を含む常勤4名に加え、耳鼻咽喉の各領域で豊富な症例実績を持つ非常勤2名の体制で、高度医療技術を担う教育機関としての使命を果たしながら、地域基幹病院として入院治療にも対応するなど幅広い診療を展開しています。そのなかでも、当科の特長は安全かつ効果の高い手術が可能であること、睡眠時無呼吸症候群(SAS)の診断・治療を行う「いびき無呼吸専門外来」を持つこと、近接領域である歯科・口腔外科との連携がスムーズであることの3つといえます。これらの特長について、最近の傾向とともにご紹介します。



近年、難治性副鼻腔炎が増加

慢性副鼻腔炎について、従来とは異なる難治性の「好酸球性副鼻腔炎」が近年増加しています。当科対応手術のうち3割程度がこの副鼻腔炎です。手術で鼻茸を切除してもすぐ再発し、現状で有効なの

呼吸を守る、睡眠を守る



はステロイドの内服薬に限られています。喘息治療に用いられる薬剤（抗IgE抗体や抗IL-5抗体）が有効とする報告がありますが、日本では保険適用が無く未だ確立された治療法に至っていません。当科では手術で病変部を切除して鼻の通りをよくし、ステロイドを用いる場合でも少量でコントロールするという方針で治療を行っています。好酸球性副鼻腔炎は内視鏡だけではわからない場合が多く、X線画像にて両側対称性の病変が上顎洞ではなく篩骨洞優位にみられます。篩骨洞の侵襲は嗅覚障害を招くため、この症状が出たら好酸球性副鼻腔炎を疑います。この疾患ではしばしば喘息の合併、またはアスピリン喘息の合併がみられます。確定診断は鼻茸の中に好酸球が一定数以上観察されることで判断します。

いびき無呼吸専門外来

SASの治療をメインにした「いびき無呼吸専門外来」を開設しています。SASの原因は多様ですが、一般的には肥満、小顎、鼻閉、口呼吸などがあげられます。眠気や倦怠感などの自覚症状のほか、同居家族の指摘により発覚する患者様がほとんどです。

診断は、当院に宿泊して行う終夜睡眠ポリグラフ検査(PSG)を行います。PSGによる診断で無呼吸

潜在患者数の多い睡眠時無呼吸症候群 (SAS)

耳鼻咽喉科

低呼吸指数 (AHI) を算出し、軽症 (5~14)、中等症 (15~29)、重症 (30~) と分類します。重症の場合は睡眠時に経鼻的持続陽圧呼吸療法 (CPAP) を行います。鼻に装着したマスクから一定圧力の空気を気道に送りこむ方法です。AHI20~29でも肥満、高血圧、糖尿病、心臓病、脳梗塞の既往がある患者様では重症と診断しCPAPを勧めています。中・軽症の場合は、SAS専用マウスピース (OA) を当院歯科・口腔外科で作製し、就寝時に装着してもらいます。マウスピースにより下顎を前方移動することで上気道が広がり無呼吸が緩和されます。患者様の負担が少なく比較的取り入れやすい治療法です。これらのCPAP、OAともに保険適用です。CPAPは原則月1回の通院が必要ですが、OAは通院義務がありません。3か月

に1回程度、歯科医師のチェックを受けてもらいます。

近接領域同士の連携

歯髄炎、歯周炎によって引き起こされる歯性上顎洞炎。最近ではインプラントが上顎洞に迷入することで引き起こされるものもあり、歯科・口腔外科との詳細な連携は必須です。インプラント埋入前の画像検査により上顎洞粘膜面の炎症が発見された場合には、当科で治療することもあります。当院の両診療科の関係性は国内で最良だと自負しており、SASにおけるOA治療でも歯科・口腔外科との連携関係が良好であることは患者様のメリットになるでしょう。

患者様紹介について

慢性副鼻腔炎でマクロライド療法など一般的な治療の効果がみえない、嗅覚障害があるといった患者様がいらしたら、難治性副鼻腔炎の可能性がありますのでご紹介ください。PSGについては、簡易検査でAHIが40未満だがCPAP適応の可能性のある患者様など、診断が必要な場合にご紹介ください。多くの先生方にCPAPの治療法と効果を知っていただき、情報共有ができるようになればと思います。

information

市川リレーションシップカンファレンスを開催します

地域のみなさまに安心して医療を受けていただくための体制構築に向けた、東京歯科大学市川総合病院と地域の先生方を結ぶ新たな取り組み“市川リレーションシップカンファレンス”。紹介・逆紹介においてそれぞれの専門性を最大限に活かせるように、相互理解を目的としたカンファレンスです。

- ❖ 日程：平成29年5月23日(火)
- ❖ 時間：19:30~21:00
- ❖ 場所：東京歯科大学市川総合病院 角膜センター3階会議室

From the standpoint of “issou” 耳鼻咽喉科

- 1) OSAS診療の総合デパート
- 2) 嚥下障害の拠り所
- 3) 上気道疾患の救世主

みなさまのご参加、お待ちしております。



助教 山口 航 教授 中島 庸也 助教 露無 松里 臨床専修医 弦本 惟郎

医療機関の先生方へ

市川総合病院 診療情報提供書

検索

当院と地域の病院・診療所の先生方との間で、患者様のご紹介などを円滑に行えるように、「地域連携・医療福祉室」を設置しています。ご不明な点がございましたら、下記へお尋ねください。

地域連携・医療福祉室 TEL 047-322-0151(内線2214) FAX 047-324-8539(直通)

開室時間 月曜日~金曜日:午前9時~午後5時 土曜日:午前9時~午後1時(第2土曜日は休診日)